



三軒町長5期目始動

7月13日（月）、公民館において、太地町長選挙並びに太地町議会議員補欠選挙の当選証書授与式を行いました。町長選挙は現職の三軒一高氏が、町議会議員補欠選挙には宮川茂氏がそれぞれ当選され、山路委員長より当選証書が付与されました。

当選に際し、5期目となる三軒氏は、「30年のまちづくり計画も中期に入り、令和3年3月末に防災複合施設を兼ねた太地駅舎の建築、更に翌年度には、一般財団法人日本鯨類研究所太地支所の整備を進め、名実ともにくじらの学術研究都市を目指すべく、一層力を入れて慎重にまちづくりを進めていきたい」と意気込みを述べられました。

また、宮川氏は初当選で、「この1年の任期のうちにできるだけ多くの町民の方と話し、意見を聞いて、自分の基盤を築いていきたい」と話されました。

目 次

トピックス.....	2
お知らせ.....	3
住民福祉課便り.....	4
くじらの博物館便り.....	6
健衛生関係行事予定.....	8



7/1(水) **海** 上遊歩道オープン!!

「森浦湾くじらの海計画」の一環として、森浦湾で整備を進めていた海上遊歩道が、オープンしました。

遊歩道からは、湾内に放し飼いにした鯨や、生け簀内の鯨を近くで観察することができます。

本町が目指す「くじらの学術研究都市」実現へ向け、多くの研究者の方にご来町いただき、学術研究に役立てていただく予定です。

入場は無料で、一般の方にも楽しんでいただける施設となっていますので、お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

7/20(月) **農** 業委員任命書交付式

役場において、農業委員任命書交付式を行いました。

今回任命された方々は、以下のとおりです。

東 紀明さん、細野 英伸さん、久原 拓美さん、
坂口 佳子さん、東 勝人さん、前田 まゆみさん

3年間よろしくお願いいたします。



ご 長寿お祝い申し上げます

8月12日現在で、町内在住の80歳以上の方々は、536名です。

年代別にしますと、90歳代男性が25名・女性が103名、80歳代男性が154名・女性が254名となっています。ご長寿お祝い申し上げます。

お知らせ

30 歳から公務員を目指す!! 自衛官(学生) 等の募集案内

受験種目	応募資格	受付期間	試験日	試験会場
自衛官候補生	18 歳以上 32 歳以下の男女	年間を通じて行っております	受付時にお知らせいたします	受付時にお知らせいたします
防衛大学校	一般 18 歳以上 21 歳未満の者 高卒者(見込含) 又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日(水)～ 10月22日(木)	1次:11月7日・8日 2次:12月9日～11日	1次:新宮高校(予定) 2次:別途お知らせします

【お問い合わせ】 就職や転職等をご検討の方は是非お問合せください。

説明会平日随時、自衛隊新宮地域事務所(新宮高校正門前) ※来場自由 電話:0735-21-3449

お知らせ

ワールドマスタースゲームズ 2021 関西の開催及び大会参加者の募集

ワールドマスタースゲームズ 2021 とは、概ね 30 歳以上なら誰でも参加できる世界最大級の生涯スポーツの国際競技大会です。2021 年、アジアで初めて、関西を舞台に開催されます。参加エントリーを以下のとおり受付けております。

受付期間: 2020 年2月1日 10 時～ 2021 年2月 28 日 詳細は、大会ホームページ(<https://wmg2021.jp/>)をご覧ください。

問合せ先: 和歌山県教育庁生涯学習局スポーツ課 プロジェクト推進室 電話:073-441-3699

お知らせ

和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト体力測定会 ～集まれ未来のアスリート!～

【概要】

運動に優れた素質を有する子供たちを早期に発掘し、将来、国際舞台で活躍できるアスリートを育成するため、ゴールデンキッズを選考する体力測定会を開催します。

【開催日程】

日時①: 令和2年10月17日(土) 13:30～15:00 ②: 令和2年10月18日(日) 10:00～11:30

会場①: 串本町立体育館(東牟婁郡串本町串本2427) ②: 新宮市立総合体育館(新宮市王子町3丁目13-23)

※他にも県内6会場で開催しています。詳細はホームページでご確認ください。

【申込み期間】 令和2年8月24日(月)～9月14日(月)必着

【対象】 県内在住の小学校3、4年生男女

【応募方法】 参加申込み専用サイトで申込みまたは学校で配布された参加申込書を郵送

【お問い合わせ】 県教育庁生涯学習局スポーツ課内 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事務局

TEL: 073 - 441 - 3753

※和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクトホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500400/gksp/ikusei/290603/d00154608.html>

【コメント】 参加者全員にきいちゃんタオルをプレゼント!



住民福祉課だより

高齢者運動教室 わかやまシニアエクササイズ『まめなかに倶楽部』のご紹介

和歌山県の介護予防運動の一つとして“わかやまシニアエクササイズ”が開発され、太地町も取り組み始めて、今年で15年目となりました。今日に至るまで『まめなかに倶楽部』の愛称で活動しています。

本来、ストレッチ運動や筋力トレーニング、音楽に合わせたステップ運動を2時間かけて実施しますが、現在は、感染症予防のため、運動メニューや開催時間を短縮するなどの対策を行いながら実施しています。

定期的な体力測定を行いますので、ご自身の体力を確認しながら健康づくりが行えます。まずは見学だけでもしてみたいという方も是非ご参加ください。

対 象：太地町に住民登録のあるおおむね65歳以上の方
および かかりつけの医師に運動を制限されていない方
開催日時：毎週金曜日 午前9時30分～（祝祭日はお休み）
場 所：太地町多目的センター
申し込み：太地町社会福祉協議会 【TEL 59-3380】まで



熱中症を予防するポイント

9月になりましたが、まだ暑い日が続いています。引き続き、感染症予防とともに熱中症予防も大切です。

○部屋の温度・湿度をこまめに確認しましょう。

室温が28℃を超えないよう、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。換気も忘れずに。



○のどが渇く前に、水分をこまめに補給しましょう。

1日あたり1.2リットルを目安に、大量に汗をかいたときは、塩分も忘れずに。

○適宜マスクを外しましょう。

気温や湿度の高い中でのマスクの着用は要注意！

屋外で人と十分な距離（2メートル以上）が確保できる場合は、マスクを外しましょう。



○日頃から健康管理をしましょう。

体調や体温のチェックを行いましょう。調子が悪いと感じたら、無理せず休憩をとることも大切です。



○日頃から睡眠や栄養をしっかりと、体力づくりをしましょう。

無理のない範囲で「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度の運動を行いましょう。

ご高齢の方や子どもさん、身体が不自由な方は、十分に注意し、3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周りの方々からも積極的な声かけをお願いします。



「元気な和歌山」を実現する基本方針

文化力の向上

文化を継承

文化の創造

紀の国わかやま文化祭2021

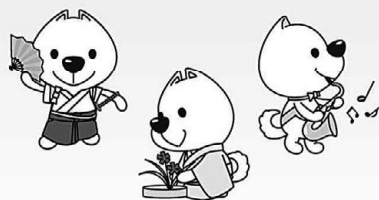
和歌山県初開催である国内最大の文化の祭典です。

全国的な規模による発表、競演、そして障害のある人もない人も共に参加し、交流の輪を広げる文化祭です。

- 名称 第36回国民文化祭・わかやま2021
第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
- 愛称 紀の国わかやま文化祭2021
- キャッチフレーズ 山青し 海青し 文化は輝く
- 会期 令和3(2021)年10月30日(土)~11月21日(日)23日間
- 会場 開会式:和歌山ビッグホエール
閉会式:和歌山県民文化会館
期間中:和歌山県内各地で多彩な文化イベント等を開催

1. 分野別交流事業

全国から出演者や作品を募集し、分野別(23分野)に公演や展示等を実施します。



合唱 吹奏楽 オーケストラ 太鼓 かるた 華道
茶道 短歌 演劇 洋舞 将棋 現代詩 俳句
お香 大正琴 民謡 着物 川柳 健康麻雀
邦楽 ダンス 連句 吟剣詩舞道

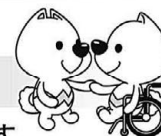


2. 地域文化発信事業

世界遺産、日本遺産、食文化や歴史等の地域の文化資源を活用し、和歌山の魅力を発信します。

3. 障害者交流事業

出演者や作品を募集し、発表の場を提供。障害のある人の芸術及び文化活動の活性化を図ります。



「紀の国わかやま文化祭2021」盛り上げ隊 募集中!

本文化祭を県民へ周知するとともに、文化の魅力を発信するための文化関係団体等を募集しています。協力いただけるサークルや学校、職場等の団体等がいっぱいありましたら、下記までお問合せください。

盛り上げ隊の活動例 参加団体主催イベントでのPR活動、SNSでの投稿・フォロー・シェア、
県主催イベント等でのPR活動(舞台出演、PRグッズ配布、体験教室など)



●お問い合わせ先●

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地 東別館5階

第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局(紀の国わかやま文化祭推進局総務企画課)

TEL.073-441-2417 FAX.073-423-7120

E-mail:kinokunibunkasai2021@pref.wakayama.lg.jp

紀の国わかやま文化祭

公式HP・SNSで情報発信中



HP



facebook



twitter



instagram



円海院 「紀州太地浦鯨大漁之図」(くじらの博物館所蔵)

太地の柱松と修験の寺

Taiji's Hashiramatsu Pine Torch and the Shugendo Temple

太地の柱松は盆行事の中に位置付けられている。8月14日の火は先祖の精霊が戻るべき場所を示す「迎え火」であり、翌15日の火は精霊の帰り道を照らす「送り火」とであるという。

いわゆる柱松神事は全国数百カ所で行われており、その多くは松明を籠に投げ入れて点火するものであるという。太地のそれも同様である。ただし神事の目的は必ずしも盆供養とは限らない。例えばさみ町佐本の柱松は、天明年間に流行った疫病で多くの人命が失われたことから、無病息災を願って行われてきたという。新宮市佐野の柱松は、五穀豊穡や虫除けを祈願するものであるといわれている。

全国の柱松を調査した小畑紘一氏は、供養や厄除けの祈願など、柱松が共同体の平安を願う公的な目的を持つだけでなく、見物人が祭りの雰囲気を楽しみ、そこで使われた御幣などを入手して、豊作祈願や家内安全などの現世利益を得ようとする私的な目的も併せ持つことを指摘している。目的の公私を問わず、それらを達成するためには、柱の霊力が目に見える形に表されなければならない。人々は柱を立てて神を迎え、着火によって神の意思を確認し、柱を燃やして、あるいは柱を倒して神を送り出す。

町文化財保護審議会の委員長を務めた堀端平氏が、江戸時代の柱松の話を平成5年9月発行の公民館報の中で報告している。飛鳥神社の宮司を明治5年から40年以上務めた鳥居氏が語ったところによると、かつて太地の柱松において、柱が引き起こされると「えんかい火出せ」という号令がかかった。「えんかい」とは、飛鳥神社の南隣にあった円海院という寺のことである。かつて柱松はそれらの前の浜で行われていた。円海院で起こされた火は、「えんかい火出せ」の号令がかかると柱松の近くに置かれた石造りの「火台」に積まれた松明に移される。男たちはその火を各自が持つ投げ松明に点け、柱の上部に取り付けられた籠をめがけて投げ上げた。

円海院の火にどのような意味があるのか筆者は知らない。分かっているのは、円海院が那智山に属する三十六坊のひとつであり、開山は慶安3年(1650)よりも前で、開祖の順真法印は鳥居宮司の祖先であったことである。明治初年に政府が神社から仏教的な要素を排除する神仏分離令を発し、円海院は廃された。柱松は昭和に入ってから同じ場所で行われていたようだが、現在は東の浜で行われている。今年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止された。



海洋プラスチック問題を考える

ボールペンやシャープペン、筆箱やペットボトル、机の上を見るだけでも私たちの身の回りには様々なプラスチック製品があることに気づきます。また、日頃気にも止めていませんが、車や飛行機、衣服や魚を獲る網などにもプラスチックが使われています。軽くて丈夫で加工しやすく、長く使えるプラスチックは私たちの暮らしを驚くほど便利なものにしてきました。

しかし、今年1月に有名コーヒーショップチェーン店でプラスチック製ストローの使用が段階的に中止されることになったり、7月に全国でレジ袋が有料化されたりと、近年プラスチックの利用を少なくしようとする動きが世界的に広がってきています。生活に便利なプラスチックの利用をなぜ少なくしないといけないのでしょうか。

「海洋プラスチック」という言葉を耳にされたことがあるでしょうか。実は今、世界で年間約800万トンものプラスチックがごみとして海に流れ込んでいると推定され、このペースで増え続けると、2050年には海にいる魚全ての重量よりプラスチックの方が重くなるともいわれています。こうしたプラスチックは、「海洋プラスチック」と呼ばれ、海洋生物や海鳥の生態を脅かすなど世界的に問題となっているのです。

私たちも他人事ではありません。波の力や紫外線の影響などで細かく砕けて、5mm以下の大きさになったプラスチック(マイクロプラスチック)は、海の小さな生物に取り込まれ、魚がそれを食べ、それを海鳥やアザラシ、クジラなどが食べるという具合に食物連鎖で次々と動物の体に取り込まれていきます。一度環境中に排出されたプラスチックは、自然に分解されることはなく半永久的にたまり続けますから、これからも変わらずマイクロプラスチックが海に蓄積されていけば、小さなプラスチックが魚やクジラを食べる私たちの体内にもどんどん蓄積され、体に悪影響を及ぼす可能性もゼロではないのです。

海に広がってしまったマイクロプラスチックを全て回収するのは難しい事ですが、プラスチックごみ自体を今のうちに減らしていくことで将来のマイクロプラスチックの量を減らそうというのが最近の流れとなっています。そうした中でキーワードとなるのが、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)という3つの言葉です。リデュースは、無駄なごみをできるだけ少なくすること、リユースは一度使ったごみにせず何度も使うこと、リサイクルは使い終わったものをもう一度資源に戻して製品を作ることです。これらの中で最も優先されなければいけないのがリデュースです。例えば、ペットボトルではなくマイボトルを使う、レジ袋をもらわずマイバッグにするなど身近な生活の中でできることから実践していくことが推奨されています。

先月12日、公民館の生涯学習講座において子供達と「海洋プラスチック」について考えるワークショップを行いました。海洋プラスチックの問題に触れ、考えた後、オリジナルのエコバッグづくりに挑戦します。用意したのは無地のトートバッグと11種のオリジナルクジラスタンプ、そして布に描くことができるクレヨンやサインペンなど。子供達はその中から好きな画材を選び、自由にトートバッグをデザインしていきます。お気に入りのクジラを中心にレイアウトを考える子、裏表を使って朝と夜の海の風景を表現する子などデザインも色彩も個性あふれる作品の数々が誕生しました。小さな子にはまだ難しかったかもしれませんが、これを機に身近な海の環境問題について少しでも興味を持ったり、考えたりしてもらえればと思っています。

最近はハンドメイドグッズも充実していますので、ぜひ皆さんもお手持ちのバッグをオリジナルのエコバッグにしてみたいはいかがでしょうか。生き物と人が穏やかに過ごせる豊かな海を守るために、ごみを減らす活動を小さな一歩から始めてみませんか。

参考文献:クジラのおなかからプラスチック(保坂直紀著、旬報社)

環境省ホームページ(http://www.env.go.jp/water/marine_litter/index.html) 2020年8月6日

《保健衛生関係 9 月行事予定》

※今後の新型コロナウイルスの流行状況により、変更する場合があります。

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
9月9日（水）	成人健康相談（血圧測定）	10：30～11：30	公 民 館
		13：00～13：30	平見集会所
		13：45～14：15	老人憩の家
		14：30～15：00	寄水集会所
9月28日（月）	成人健康相談（血圧測定）	14：15～14：45	森浦集会所
9月29日（火）	乳幼児健康相談	10：00～11：30	ふれあいルーム

※成人健康相談（血圧測定）で、検尿を希望の方は、ご自宅で採尿し、ご持参ください。

※森浦集会所で開催する成人健康相談（血圧測定）は、都合により時間が変更となっていますので、ご注意ください。

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
9月 7日（月）	なかよし体操	13：30～14：10	東新集会所 ※平見、寄子路、水の浦、暖海地区の方
9月14日（月）		15：00～15：40	東新集会所 ※上記以外の地区の方
9月14日（月）	なかよし体操	13：30～14：10	森浦集会所 ※主に森浦地区の方
9月28日（月）			

※感染症予防のため、時間を変更しておりますので、ご注意ください。

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
9月24日（木）	4か月児健診	8：50～9：10（受付）	那智勝浦町福祉健康センター
9月24日（木）	10か月児健診	10：00～10：20（受付）	那智勝浦町福祉健康センター

白馬村民だけでなく、村内の宿泊施設をご利用の方も無料で申込みいただけるカーシェアリングサービスです。今年は、日産の電気自動車『リーフ』（旧型2台）を用意。白馬村におこしの際は、是非お試しください。



白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー

EVシェアリング開始式

8月3日（月曜日）、白馬ジャンプ競技場においてEVシェアリング開始式を実施しました。白馬村では、環境省が進めている国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、今年度の二酸化炭素排出抑制対策事業として、電気自動車のシェアリングサービス「白馬EVシェアリング」を実施します。一昨年から毎年実施しており、今年で3年目になります。

住民基本台帳
（令和2年7月末日現在）
総人口 3,015人
男 1,352人
女 1,663人
世帯数 1,580世帯
（前月比：総人口 12人増
世帯数 8世帯増）

飼い犬・飼い猫のフンの
後始末は飼い主が責任を
持って行いましょう。
また、飼い猫以外には餌
を与えないでください。

役場 住民福祉課

